

ビジョン	まちの 困りごと にみんなが 楽しく 取り組み、 自分らしく いられる「 まちだ 」づくり 時代や生活様式に合った多様な社会参加の場を育むことを通じて「まちづくり」の担い手を増やす。
ミッション	つくる、ささえる、つなげる、かえる 地域活動を段階に応じて支援。(新しい活動をする、活動を継続・発展させる、活動する人や団体をつなげる、活動の中で生まれた事業を社会の仕組みにする)
バリュー	よき「伴走者」であり、よき「翻訳者」であること 相談内容を丁寧に聞き取り、必要な支援につなげ、一緒に取り組んでいく。協働のコーディネーターとして相互理解を支援する。

	ターゲット及びパートナーとそれぞれにとっての価値の認識	関連する市の取組	他の中間支援組織や他の自治体と比較した自組織の強み・改善点	環境変化の視点	3年間の活動を通して見えた課題
現状と課題	<p>●メインターゲット 制度のはざまにある課題、社会的認知がまだすすんでいない課題に取り組む活動の支援。</p> <p>【協働による課題解決の担い手:法人化し、継続して公益的な事業に取り組む団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> 講座・相談・伴走支援を通じて、ビジョン、ミッション、事業計画の策定ができる。 資金獲得、情報発信等の支援を受けられる。 市民・他団体・機関とつながることができる。 協働事業の実施に向けた支援を受けられる。 <p>【市民の居場所、活動の場:継続して活動している団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> 講座・相談・伴走支援を通じて、ビジョンやミッション、事業計画の策定ができる。 資金獲得、情報発信等の支援を受けられる。 市民・他団体・機関とつながることができる。 チャレンジを後押ししてもらえる。 <p>【活動をはじめたい市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> やりたいことの整理ができる。 チャレンジを後押ししてもらえる。 資金獲得、情報発信等の支援を受けられる。 関係機関・団体、人の紹介を受けたり、情報を得ることができる。 <p>●サブターゲット</p> <p>【活動に参加していない市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の団体の活動やイベントについて情報を得ることができる。 活動を休止している団体 活動の再開に向けて必要な情報を得ることができる。 資金獲得、情報発信等の支援を受けられる。 <p>●パートナー</p> <p>【地区協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域で活動する団体、地域で実施される事業の情報を得ることができる。 地域の団体の活性化を通じて地域活動の担い手を広げることができる。 <p>【社会福祉協議会・高齢者支援センター他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内で活動する団体、地域で実施される事業の情報提供を得ることができる。 地域の団体の活性化を通じて地域の社会資源を広げることができる。 <p>【行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政と協働事業を行える団体が増える。 市内で活動する団体、地域で実施される事業、地域の課題を得ることができる。 協働事業のコーディネートを受けられる。 <p>【企業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内で活動する団体、地域で実施される事業の情報を得ることができる。 社会貢献メニューの検討等のコーディネートを受けられる。 <p>【教育機関】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内で活動する団体、地域で実施される事業の情報を得ることができる。 学生が市民活動団体・地域活動団体と関わる機会が得られる。 	<p>【まちだ未来づくりビジョン2040】</p> <p>まちづくり基本目標 施策6-1 つながり、支え合える基盤をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域とのつながりに満足している市民の割合60%(2031年度) 地域につながり、支え合いがあると思う市民の割合45%(2031年度) <p>施策7-1 一人ひとりの個性を大切にす地域をつくる</p> <p>経営基本方針 1 共創で新たな価値を創造する</p> <p>【町田市5ヵ年計画22-26】</p> <p>〈重点事業プラン〉 重点事業1 地域活動団体支援 支援を行ったことで活動の活性化につながった累計団体数35団体/年 ・マッチング累計件数12件/年 〈経営改革プラン〉 改革番号1-3-1 共創による地域社会づくりの推進</p> <p>【町田市地域ホットプラン】</p> <p>リーディングプロジェクト1 地域の「やりたい」をかなえつつけるプロジェクト 基本目標Ⅰ 今を生きる自分に合ったつながりをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域活動に参加したことがある市民の割合40%(2031年度) ・マッチング件数140件(2031年度) <p>基本目標Ⅱ つながりで地域の活力を生み出す</p>	<p>【強み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の他自治体の市民活動センターのような施設運営によるハード中心の支援ではなく、ソフト支援に特化しているため、活動現場に直接出向くアウトリーチによる丁寧な伴走支援ができる。 制度のはざまにある課題、社会的認知が十分でない課題に取り組む団体の支援を通じて、顕在化していない課題の把握ができる。 広報、助成金、学生とのコーディネートという職員の専門性を発揮した支援メニューを提供できる。 市役所の外郭団体であるため、公共性がある。また、相談や講座を無料で提供できる コロナ下におけるオンライン講座やクラウドファンディングの実施など社会状況にあわせて柔軟かつスピーディな対応が可能。 <p>【改善点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内会・自治会、地区協議会などの地縁組織との関わりが薄い。 まだ活動をしていない市民に情報が十分に届いていない。 <p>【参考:近隣他市の中間支援組織】</p> <ul style="list-style-type: none"> 三鷹市:三鷹市市民協働センター 調布市:調布市市民プラザあくろす市民活動支援センター 府中市:府中市市民活動センター プラッツ 八王子市:八王子市市民活動支援センター 日野市:ひの市民活動支援センター 西東京市:西東京市市民協働推進センターゆめこらぼ 小平市:小平市民活動支援センターあすびあ 武蔵野市:武蔵野市立・ひと・まち・情報創造館 武蔵野プレイス 国分寺市:こくぶんじ市民活動センターcollabo 国立市:くにたち地域コラボ 立川市:市民活動センターたちかわ 狛江市:こまえくぼ1234 -狛江市市民活動支援センター 多摩市:多摩ボランティア・市民活動支援センター 稲城市:市民活動サポートセンターいなぎ 相模原市:さがみはら市民活動サポートセンター 川崎市:かわさき市民活動センター 	<ul style="list-style-type: none"> 価値観やライフスタイルが多様化したことで、既存の地域活動に参加する人が減少している。 現代の多様な価値観やライフスタイルに応じた「やりたい」ことへの支援が求められている。 社会が大きく変化しており、課題も多様化している。解決には、縦割りや組織を超えた協働が不可欠となっている。 社会変化のスピードが早く、その変化に柔軟に対応することが求められている。 SNSの普及などにより、オンライン上のコミュニティなど新たなコミュニティが出現している。 <p>【新型コロナウイルス感染症の影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「新しい日常」の定着とともに地域活動においてもオンラインの活用が進んでいるが、デジタル機器に不慣れな人との間の隔たりが広がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会状況の変化が大きく、前例のない取組みを柔軟に行う必要がある。 地区協議会、テーマごとのネットワークなどは存在するが、参加が一部にとどまり地域活動の担い手の横のつながりが十分ではない。 協働事業の運営を継続的にできる団体が限られているため、協働事業が継続しにくい。 団体や活動の情報が必要な人に届かず、活動の担い手が広がらない。特にまだ活動をしていない層へ情報が届きにくい。 情報過多、デジタルバイドなどにより、真に必要な情報を入手できない人も多い。 「やりたい」を支える資源(人・もの、場所、資金)が十分でなく、マッチングの仕組みも確立されていない。特に、活動の初期段階の資金支援へのニーズが高い。

	①地域活動の場と担い手の拡充	②地域活動を支える資源の充実	③協働・共創の推進	目指す姿
ビジョン・ミッション・バリュー、 現状と課題を踏まえた4年間の活動方針	<ul style="list-style-type: none"> 相談や伴走支援を通して、事業の方向性の整理、関係団体・機関とのコーディネート、助成金等の資源獲得支援を行い、事業実施までを継続して支援する。 まちカフェ！、講座等を通じて、活動の担い手がつながりをつくる機会を創出し、担い手の拡充、担い手同士の連携・協働をすすめる。 NPO法人をはじめとする市内の市民セクターの形成を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動を支える情報のハブとして、サポートオフィスで管理するHPや広報誌、SNS等を活用し、①活動に有用な情報を収集・発信する、②市内の活動についての情報を市民に提供する。 より広い層に情報が届くようにSNSや既存のメディア(タウン誌等)を活用し新たな広報戦略を検討実施する。 地域活動を支える仕組みを市民協働推進課と協働して構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> 協働事業の支援をすすめるとともに、協働事業が生まれやすい対話の場や実施に向けた支援の仕組みが各地区でも展開できるようアウトリーチをすすめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な活動・協働が生まれる対話の場や協働事業が各地区や分野で展開されている。 地域活動の担い手(活動する人、したい人、参加・応援する人)のコミュニティが各地区や分野に創出されている。 地域活動の認知と参加が広がる。 市民セクターが公共の担い手となる。 地域活動支援の仕組み(資金支援、人的支援)が構築され、活用されている。

事業内容	具体的な活動内容	指標	現状値(2021年度)	目標値(4年間合計)	達成時期	4か年の工程表				
						2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
1	地域活動の場と担い手の拡充	活性化した団体数(既存団体、新規立ち上げ)	①30団体/年	140団体	2026年度	相談、講座の開催とその後伴走支援				
2	地域活動を支える資源の充実	地域活動を支える資源(人・もの、場所、資金)と活動、団体とのマッチングと協働事業の支援	②10件/年	48件	2026年度	まちカフェ！を通じた事業実施支援、マッチング				